

カウル編集長メモ

#編集長メモ



編集長のカウルです。

今回は最新の記事から6本を紹介するニャ！

「推し活」という言葉はほぼ一般化しつつあるようですが、本当に「推し活」をやっている人の視点を知ることができるのが、らぶはんさんの『[「あんスタ」という沼の Deep な楽しみ方](#)』。好きなものを追いつけられるって良いよね。

ネット通販と言えばアマゾンやヨドバシ、楽天が有名ですが、アジア諸国の通販サービスが若い世代では日常的に使われています。その一例が Pinkoi です。

じあさんの『[Pinkoi の歩き方-国別検索や語学体験もある買い物体験の宝庫](#)』を読むと、日本と海外の垣根が画面上ではほとんど感じられないことをユーザー目線で知ることができますニャあ。

吉澤ユウキさんの『[間違えない低温調理器選び-元量販店販売員が教えるヨ](#)』には、店頭だけでは購買体験の全てを得ることができない中で、店頭とネットなどのそれぞれの特徴をどう活かすのか？のヒントが低温調理器という比較的新しい家電を選ぶプロセスから見えてくると思うニャ。

次は、モートさんの『[駄菓子屋の生き残りを考える](#)』。業態として行き詰まって過去のモデルのように見えても、新しい可能性や市場の中でのポジションを獲得できることがありますという話。ここでは、駄菓子屋×行政という新しい組み合わせも紹介しているニャ。

これらと同時に、私達の社会(の人数)が急速に小さくなることも見て見ぬ振りができない事実として存在していることは『[社会という市場が6割引状態になる日](#)』を読んで知って欲しいにゃあ。

加えて、大きな環境変化の中でちょっとした買う理由をつくることの重要性が増す一例が、『[1本のおいしいが、世界を救う？ソーシャルグッドなバナナアイス](#)』じゃないかニャ〜。
買うことを通じて、暮らしを楽しくすることの大切さは一層高まりそうですニャ。

『次回予告』 パッケージと買うことに注目するかもにゃ。